新生堂薬局が減塩推進

福岡 料理提供や健康相談

調剤薬局などを展開する新生堂薬局（福岡市）が今月から、県の減塩プロジェクト「TRY!スマソる?」に参加している。西鉄薬院駅ビル（同市中央区）の「新生堂ヘルスケアステーション薬院」に併設するカフェで県の減塩レシピを取り入れたメニューを提供するほか、管理栄養士による健康相談なども行う。

2016年の国の調査によると、県民1人当たりの食塩摂取量は男性が11・7グラム、女性が9・5グラムと全国平均（男性10・8グラム、女性9・2グラム）を上回る。食塩の過剰摂取は、高血圧につながり、脳梗塞（こうそく）や心筋梗塞のリスクを高めるため、県は23年度から減塩プロジェクトに取り組んでいる。

新生堂薬局では、23年10月～24年9月、薬局を訪れた高血圧など生活習慣病患者の調査を実施。その結果、7割近くが半年以内に薬の服用をやめていた。同社の水田怜社長は「働き盛りの世代が多く、痛みもないのでそのままにしがちだが、放置していると突然亡くなるケースもある」と話す。

取り組みでは、健康機器大手のタニタが監修する「タニタカフェ」と連携した併設カフェで、県が開発した食塩相当量2・5グラム以下の「スマソルレシピ」を取り入れたメニューを提供するほか、管理栄養士による健康相談を毎月17日（減塩の日）に実施する。

3月下旬には減塩講座をプレイベントとして開催。管理栄養士の吉岡千歩さん(27)が「塩分の取り過ぎは30年後の高血圧につながる」と説明し、だしを使った減塩みそ玉の作り方を教えた。水田社長は「薬局としても減塩の取り組みを通し、県民の健康維持に貢献したい」としている。

新生堂ヘルスケアステーション薬院で行われた減塩講座

公務員経験者を対象に採用試験

福岡市、今年度から創設

福岡市は、今年度の職員採用試験から、新たに公務員経験者を対象とした選考を創設する。国、都道府県、政令指定都市の正規職員として3年以上の勤務経験が

務経歴書の提出は対面の面接で行われる。

申し込みは5月13日午後5時まで、市の専用フォームで受け付ける。1次選考の結果発表は6月上旬で、2次選考は6月21日～7月13日に実施し、7月下旬に合格発表を行う予定。問い合わせは市人事課（092・711・4187）へ。

真角さん最優秀 4月例会

ようこの仲間 福岡YPC

福岡読売写真クラブ（福岡YPC）の4月例会が福岡市中央区で開かれ、フォトコンテストの最優秀賞に真角正孝さん（福岡市）の「観桜トロッコが走る」（4枚組み）が選ばれた。

優秀賞は田中彬嗣さん（福岡市）の「風波と泳跡波」、梅原信英さん（須恵町）の「アピール」、特別賞は上田文雄さん（福岡市）の「桜隧道ワンダフル」（3枚組み）だった。

スマートフォンなどで「福岡YPC」と検索すると、ブログから詳細を見ることができる。新会員も募集しており、問い合わせは梅原信英会長（090・8623・6832）へ。

▲ 真角さんの「観桜トロッコが走る」（撮影地・山口県岩国市）

福岡

西部本社
〒810-8581
福岡市中央区赤坂1-16-5
社会部
☎092-715-5641 Fax715-5509
s-syaka1@yomiuri.com
筑紫支局
☎092-589-3003 Fax589-3135
福岡東支局・宗像通信部
☎0940-34-3611 Fax34-3612
糸島通信部
092-324-4135 Fax324-4138

購読・配達の問い合わせは
0120-4343-81

福岡北東読売会 092-672-1719
福岡西南読売会 092-924-5331
【広 告】092-741-8972
【折り込み】092-722-4050
【事 業】092-715-6071